

グループワーク

◎強度行動障害の方への支援について

らいふステージの取り組みや支援の話を書き聞いて感じたこと、
今支援に携わっていて思うこと、こんな資源がもっとあればいい等の意見交換

感想

- ・強度行動障害の方たちを取り巻く環境の大切さを感じた。また、環境が変化することで特性も変化することを知れた。
- ・ふつうとは何だろうか。強度行動障害の方たちの行動が言葉との説明を聞いて、何を伝えたいのだろうと向き合っているだろうかと考えさせられた。
- ・本人の行動や表現等で、本人の思いに気づき、私たち支援側が気づかせられることもある。
- ・スタッフの交流、支援者同士何度も話し合いを重ねていることが大切である。
- ・支援を統一するため工夫や対応の仕方など、経験や知識のある管理者がいる。
- ・地域の事業所がこんな取り組みをしているとは知らなかった。地域資源などを知ることも大切だと感じた。

課題や地域にあればと思う資源や機能など

- ・問題提起行動に対する対応ができていない。
- ・保護者や家庭環境への把握や支援が十分にできていない。
- ・生活しやすい環境をどう作るのかがポイント。
- ・強度行動障害の研修を受けた先のステップが出来ているだろうか。
- ・支援者として、本人の強みをみつけているだろうか。支援者間のコミュニケーションや地域との関わりについては十分に出来ているだろうか。
- ・日中支援や短期入所などで強度行動障害に対応した事業所が少ないため、体験や経験をする機会がないため選択肢が狭まる。
- ・人材教育、育成の場が必要。
- ・メンタルヘルス（支援者）
- ・強度行動障害の表現について理解するまでの時間を要する。
- ・緊急避難（災害時等）について、見通しがつかない方に関しては、事前に避難所を訪問しどのような場所なのか理解しておくと思いが、避難時の受け皿がない。
- ・医療体制として、体調の悪い時の入院受け入れについて調整が困難。（緊急時も含めて）
- ・マンパワー不足で、夜間の体制、関わりができるような配置ができない。
- ・発達障害者地域支援マネージャーについて想定されているが佐賀県は誰がなるのだろうか。